

図1-14 2つの地震が独立に発生した場合の震度の差のコンターと各地で記録された地震発生時刻  
 (作成：武村雅之)

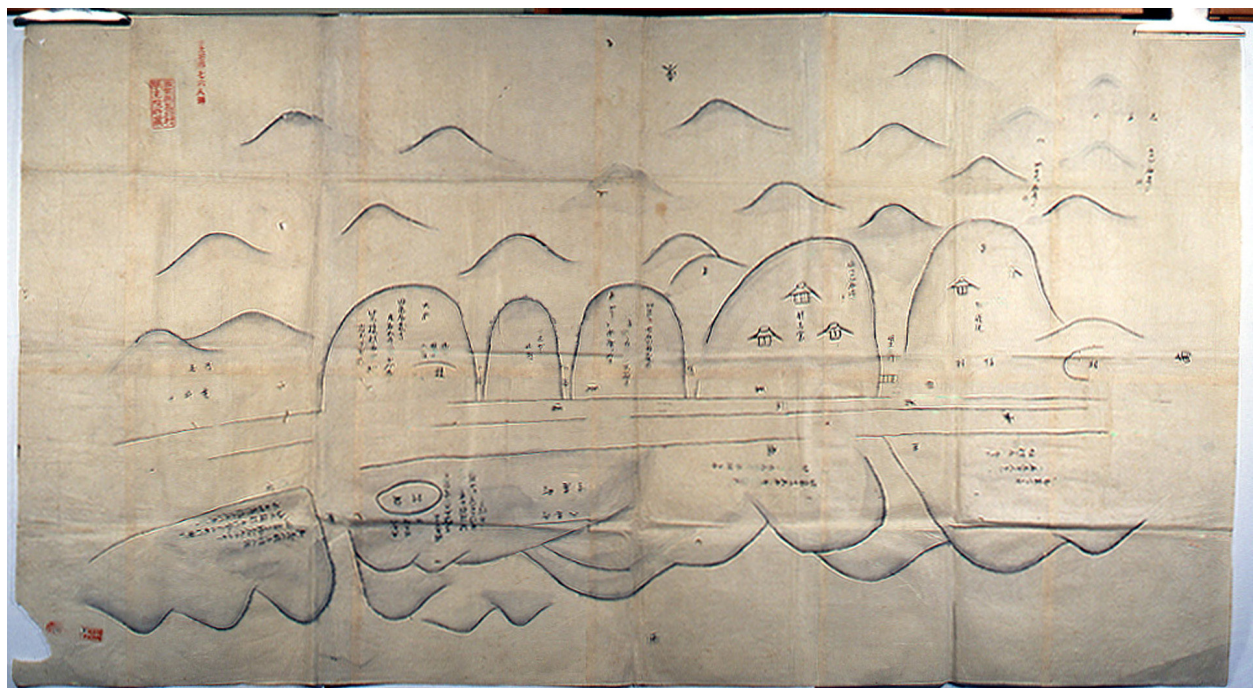


図2-10 「葛川明王院領内村々差図」(葛川明王院文書蔵)

注) この絵図では、上辺が東、下辺が西となっており、中央には右から左へ安曇川と若狭街道が描かれ、川と街道に沿って榎村や坊村での被害状況が書き込まれている。



図2-5 「葛川山林絵図」(葛川明王院文書藏)



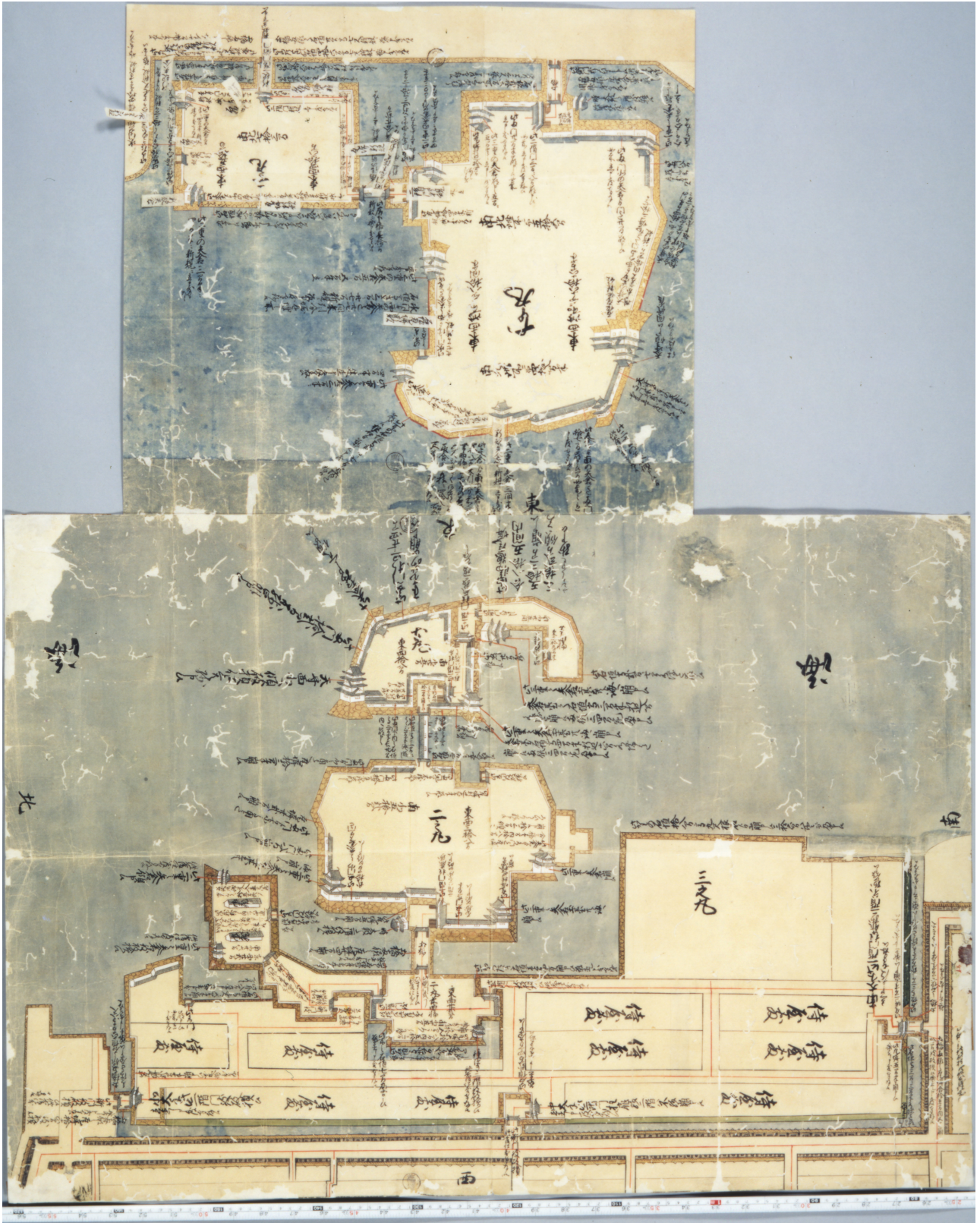


图 3-6 「膳所城寛文地震修復願ヶ所絵図 (近江国各郡町村絵図 大津1)」  
 (滋賀県立図書館蔵)



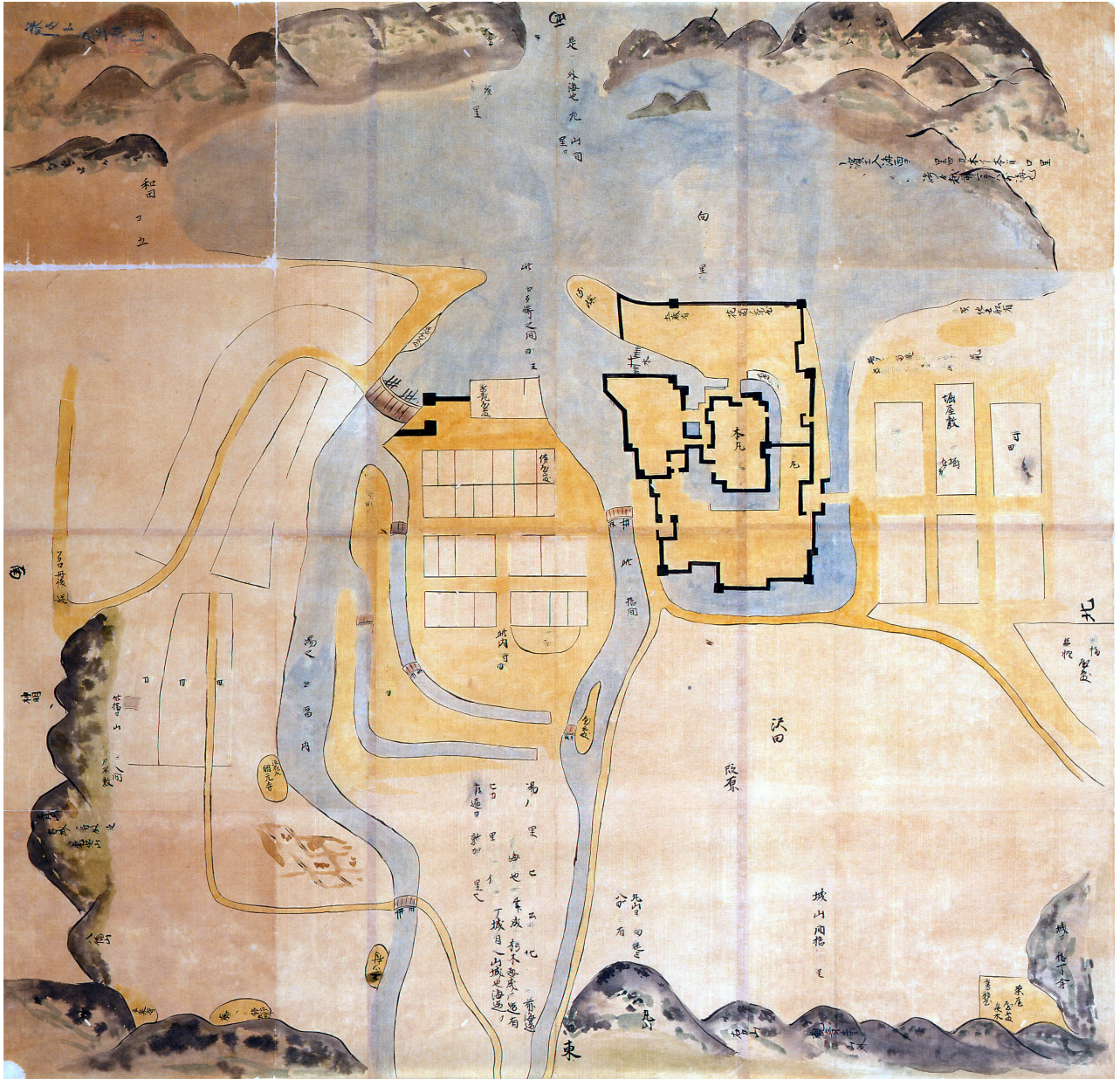


図4-2 寛永20年(1643)小浜城下町全図(酒井家文庫蔵)(提供:小浜市)

右を北とする。北川・南川を堀に利用した水城としての小浜城の様子がよくわかる絵図である。城の北に西津、南東に竹原の武家地があった。町人地は竹原から更に堀を隔てたところにある。